

『風俗画報 第201号』『青山練兵場入営者集合の図』(ゆまに書房提供)



第30回  
常民文化研究講座

# 年中行事の 近現代史

The Modern and Contemporary History of Annual Events

Kanagawa

FOLK

University

CULTURE

2026  
**11.21** 土

13:00~17:00

神奈川大学

横浜キャンパス3号館  
305講堂

事前申込  
参加無料



『風俗画報 第251号』『記念大会上野式場に赴く途上行列の図』(ゆまに書房提供)

## プログラム

趣旨説明 平山 昇 (神奈川大学日本常民文化研究所)

報告 1 東京における年中行事の変容について  
岸川雅範 (神田神社)

報告 2 近世修験道行事の神道化／近代化  
—『英彦山神社日誌』の分析から—  
須永 敬 (九州産業大学)

報告 3 日蓮降誕会の近代  
プレニナ ユリア (大阪大学日本語日本文化教育センター)

報告 4 入退営という大移動  
—徴兵制と旅立つ家族・帰還する家族—  
大江洋代 (東京女子大学)

総合討論 コメント 丸山泰明 (神奈川大学日本常民文化研究所)

※内容につきましては、変更する場合がございます。予めご了承ください。



主催： 神奈川大学日本常民文化研究所

Institute for the Study of Japanese Folk Culture, Kanagawa University

# 年中行事の近現代史

本講座は、「節分」のように日本各地でごく当たり前におこなわれている祭事や、戦前の日本社会において大きな存在感をもっていた軍隊関連の行事（入退営や招魂祭など）といった年中行事を、新聞や日誌といった経年的に蓄積された史料を用いて近現代における歴史的変遷を検討する。これにより年中行事が、改暦・軍隊・皇室・メディア・鉄道・経済・感染症など、実に様々な要因に規定されながら紆余曲折に満ちた変遷を経て、当時の社会と相互に影響を与えあってきたことが明らかにされるであろう。

また、この研究手法により「創られた伝統」論をめぐって見られる二つの問題点（「創られた伝統」の起源に関心が集中してその後の過程が看過されること、ナショナリズムに関心が集中して資本主義など他のさまざまな要因が捨象されること）を乗り越えるための手がかりと、大学や高校などでの教育への活用の可能性も見えてくるであろう。

## プロフィール

### 岸川 雅範

神田神社禰宜 神道学

- ・『江戸天下祭の研究—近世近代における神田祭の持続と変容』（岩田書院 2017年）
- ・『江戸の祭礼』（KADOKAWA 2020年）

### ブレニナ ユリア

大阪大学日本語日本文化教育センター招へい研究員  
日本近代仏教史

- ・「日蓮像の近世・近代」  
（『交錯する宗教思想と「日本」—キリスト教・仏教・儒教』ミネルヴァ書房 2026年）
- ・「サークル活動のなかで求められた日蓮」  
（『近代日本の教育と仏教—人間形成論と国家主義の相剋』法蔵館 2026年）

### 須永 敬

九州産業大学教授 民俗学・宗教学

- ・「近現代における英彦山信仰の〈分散〉と〈統合〉」  
（『九州の山岳霊場』高志書院 2025年）
- ・「『神社日誌』から読み解く祭りの変遷  
—英彦山神社神幸祭の事例から—」  
（『だから地方史研究はやめられない』文学通信 2025年）

### 大江 洋代

東京女子大学准教授 日本近代史

- ・『明治期日本の陸軍—官僚制と国民軍の形成』  
（東京大学出版会 2018年）
- ・「国民統合をめぐる攻防—内務省と軍部」  
（『内務省—近代日本に君臨した巨大官庁』講談社 2025年）

#### お申し込み

神奈川大学日本常民文化研究所 Web サイト内の【参加申込フォーム】よりお申込みください。  
なお、ご提供いただいた個人情報は、本講座の実施・運営にのみ使用いたします。

こちらのQRコードからお申込みいただけます▶



講座ページ

#### お問合せ

神奈川大学日本常民文化研究所

Tel : 045-481-5661 (代) Fax : 045-413-4151  
〒221-8686 神奈川県横浜市神奈川区六角橋3-27-1  
jomin-kouza30@kanagawa-u.ac.jp

#### アクセス

### 神奈川大学横浜キャンパス

- ・東急東横線「白楽駅」または「東白楽駅」下車 徒歩13分
- ・横浜駅西口よりタクシー利用 12分



交通アクセス図



※駐車場はございませんので、自家用車でのご来場はご遠慮ください。